

<p>提案する事業の内容</p>	<p>宗像市子ども基本条例の理念に基づき、「まちじゅうを子どもの遊び場に」をモットーに、子どもが生きやすいまちづくりを行います。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもプレーパークの管理運営 ・放課後出張プレーパークや学校プレーパークの管理運営 ・中高生の居場所の管理運営 ・子どもの遊びに関わる大人の資質向上のための研修 ・子どもの居場所ネットワーク事業として情報交換、研修、情報発信 ・プレーワーカー養成講座の開催 ・プレーカーによるまちじゅうを子どもの遊び場にするための活動
<p>満たすべき基準について</p>	<p>(ア) 市と民間団体等がそれぞれどのような役割により、提案事業を実施していくか、以下に記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と協働で開催できているプレーパークは、全国的にもめずらしく評価が高いため、宗像市のPRにつながっています。 ・市と協働で開催することで、活動の信用性が高まります。 ・市はスムーズな事業実施のための、学校やコミュニティとの連絡調整を行います。 ・市は活動上で問題のある子どもや家族を発見した場合等の、各部署との連絡調整を行います。 ・当団体は、これまでの実績、専門性をもって提案する事業をスピード感を持って行うことができます。 ・福岡県内、全国組織とのネットワークにより、より専門性を磨き、グローバルな視点を持って質の高い事業を実施することができます。 <p>(イ) 提案事業を実施することにより、市民サービスの質などがどのように向上されるか、以下に記入してください。</p> <p>2024年3月26日に国連は『国際遊びの日』を設立し、6月11日を『国際遊びの日』と制定しました。遊ぶことが子どもの育ちにとってどれだけ大切な事なのかを表しています。宗像市では2012年に『宗像市子ども基本条例』を制定し、子どもが豊かに育つ権利として「遊び」を保障する必要性を謳ってきました。</p> <p>2013年度より市と協働で、0歳から18歳までの子どもたちへ、安心して自分の責任で自由に遊ぶ場として『プレーパーク、中高生の居場所、子どもの居場所』を提供できており、子どもにとって、必要な人にとって、いつもあることを積み上げ拡げてきました。さらに、その活動の中で研修や経験を重ね、子どもの成長、発達をより理解したプレーワーカーを配置することができています。</p> <p>そして、市内の子どもの居場所を開催している団体やコミュニティとの情報交換や研修、情報提供を行うことで、子どもの遊びや居場所に関わる大人（市民）の質の向上にも貢献しています。</p> <p>2024年度から小学校の放課後にプレーパークをモデル的に導入しています。それにより子どもの放課後の過ごし方に外遊びの選択肢が増え、良い影響がみられ喜ばれています。</p> <p>宗像市に子ども基本条例があって、子どもの居場所事業として、市と市民活動団体との協働でプレーパークが開催されていることについて、国に『こども家庭庁』ができたことで、より注目されています。</p>

満たすべき 基準について	(ウ) 提案団体はどのような体制で提案事業を実施するか、以下に記入してください。
	当団体は、むなかたプレーパーク、子どもの居場所ネットワーク、こども応援団、かたつむりの会、NPO 法人むなかた子ども劇場、NPO 法人メイクハッピー&ピース、ママボラむなかた等の団体によって組織されています。 それぞれが、得意な分野を担当し、事業を実施します。
	(エ) 提案団体の特性を生かし、どのように協働・コミュニティ活動の推進、または専門性が著しく高いサービスの提供が図れるか、以下に記入してください。
	当団体は、長年子どもの支援に関わってきたメンバーで構成されています。ネットワークの広さは、福岡県内のみならず、全国組織と繋がっているため海外の情報も入り、グローバルな視点で活動ができています。また、全国組織の中で当団体の活動や宗像市との協働、『子ども基本条例』については高く評価されています。 これまでに培ってきた高い専門性や「子ども基本条例」の理念を十分に理解したメンバーが多数所属しており、多面的に子どもの成長発達について支援するだけのキャリアがあります。
	(オ) 提案団体が実施することで、どのように、より適正なコストで効率的な行政運営ができるか、以下に記入してください。
海外では、保育士や教員と同様に、専門的に要請される必要のある職業となっており、専門職に相当するとも言えるプレーワーカーに、時給で働いてもらっています。 土日の活動が中心で、休日の時間帯を当団体が請け負っています。 地域の大人として、経年的に子どもの姿を見守ることで、子ども達との信頼関係ができ、子どもから相談を受けることもあります。また、ずっと見ているから、いつもと違うに気づくこともあり、虐待防止やいじめ阻止など、早期発見して市につなげることができています。	

<p>期待される効果</p>	<p>国連が、『国際遊びの日』を制定したということは、世界中の子どもの育ち、成長発達に欠かせない『遊び』が今、危機的状況だということを物語っています。</p> <p>国が、『こども家庭庁』を作ったのも、子どもの置かれている状況を抜本的に変える必要があるということからだと思います。県も『福岡県こども計画』を策定することになり、青少年育成支援専門委員会に藤原が選ばれました。長年、市と協働でプレーパークや中高生の居場所を開催してきたこと、福岡県のプレーパーク連絡協議会の事務局をやってきたこと、日本冒険遊び場づくり協会の九州の地域運営委員をやってきたことが評価されて選ばれたことだと思います。この委員会の場では、毎回、宗像市との協働、宗像市にプレーパークが常設であるというPRができており、宗像市の子ども支援の評価を高めています。</p> <p>『まちじゅうに子どもの遊び場を』のモットーは、今後、各小学校に学校プレーパークを開催することで、宗像市内全域でのプレーパークを達成することにつながります。このようなまちは、全国探しても希少で、宗像市の子ども支援の良さをアピールできます。実際に、プレーパークがあるから引っ越してきましたという方や、引っ越し先の候補として問い合わせの連絡が入ることもあります。</p> <p>子どもプレーパークは、乳幼児の親子の参加が増えており、育休をとる父親たちのコミュニティ構築の場としても利用されており、子育ての情報交換の場や息抜きの場になっています。</p> <p>子どもの居場所づくり関係団体との情報交換をする中で、「子どもの遊びに関わる大人のあり方や子どもの権利とは何か？」ということや、子ども主体の場づくりなど、子どもの最善の利益を考えられる大人のつながりが出来てきました。</p> <p>何よりも宗像で思いっきり遊び、地域の大人の優しい眼差しを受けて育った子ども達は、いずれ、宗像市を愛し、さらにより良いまちにする市民に成長します。</p>
<p>添付書類</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>提案事業実施スケジュール <input checked="" type="checkbox"/>提案事業に関する支出計画書</p>
<p>宗像市市民活動団体登録</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 済</p>

* 太枠内に入りきれない場合は、別紙に記入して下さい。